

～自給自足を各家庭に～

長野県長野工業高等学校 建築学科
山崎悠加 高橋友香

テーマ設定の理由

- 最近スーパーの野菜の値段が高くなっており、その理由として地球温暖化の影響で野菜が育たず輸入に頼っているためと考えたため
- 食品ロスの増加（SDGsの目標1
2：つくる責任、つかう責任）を自分で野菜を作ることで減少すると考えたため

現状

- 地球温暖化の影響で野菜が育ちずらく、値段が高い

↳ 森林伐採

	全体 (g)	1個あたり (g)	吸収量 (g)
ナス (14個)	1 8 5 . 1	1 3 . 2	4 . 1
ピーマン (22個)	4 5 . 5	2 . 7	0 . 8

1 h aあたりの二酸化炭素の吸収量

ナス 1 . 1 4 8 . 0 0 0 g

ピーマン 2 2 4 . 0 0 0 g

野菜の値上がりの変化

	2019年	2021年
ナス	564円	622円
ピーマン	434円	678円

外国の輸入品に頼っている

日本の食料自給率37%

残りの63%は外国からの輸入

2021年農林水産省

問題点

- 値段がさらに高くなる
- フードマイレージが高い
→ エネルギーを多く使う
- 地球温暖化で気温が上がり続ける

課題

- ・ 時間がない・大変そう・金銭面に余裕がないなどの理由でできない家庭のために家庭の希望に合わせた種（例：時間がない家はもやし、ある家はピーマンなど）や必要な道具を地域で配る。
- ・ 自分で育てた野菜を持ち寄って地域でパーティーの様なことをする

SDGs実現に向けて ～ 10代からの提言～

種や必要な道具を地域で配り、誰もが自給自足を楽しめるようなイベントを開催してください。

考察・感想

自給自足に取り組むことで解決できる課題があるのではないかと感じた。

現状を調べていくなかで地球温暖化が及ぼす影響の強さを実感した。

野菜の二酸化炭素吸収量が想像より多く、また自給自足することで地球温暖化防止に良い効果があると分かった。是非、自給自足を推進をしてほしい。